

平成28年8月19日



各 位

会社名 株式会社テクノメディカ  
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知  
(コード: 6678、東証第1部)  
問合せ先 経営管理部長 萩原 一志  
(TEL. 045-948-1961)

(訂正) 「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成25年2月6日に開示いたしました「平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成28年8月19日)付「平成28年3月期決算短信及び過年度に係る決算短信等(訂正版)の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,673	8.3	1,291	14.2	1,292	13.5	821	20.5
24年3月期第3四半期	5,238	△0.1	1,130	21.0	1,139	19.6	682	△1.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	28,150.13	—
24年3月期第3四半期	23,370.00	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,554	8,795	83.3
24年3月期	11,227	8,230	73.3

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,795百万円 24年3月期 8,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8,800.00	8,800.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期（予想）				7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	25.3	2,000	9.4	2,000	9.2	1,200	11.7	41,095.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	29,200株	24年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	29,200株	24年3月期3Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、震災の復興需要が下支えするなかで緩やかな回復基調にあったものの、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性は依然として高く、力強さに欠ける状況が続いております。

国内医療業界においては、医療費・社会保障費の自然増加が毎年1兆円を超える規模で進む中、政府の医療費増加抑制政策が続いております。これに対し医療機関は様々な取り組みで経営の効率化を進めており、医療現場の効率化につながる機器の導入は今後も継続するものと思われま。

このような経営環境の中で、当社では検体検査装置やヘルスケア部門において新製品開発を進めるとともに、平成23年9月に販売開始した新型採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心とした販売活動を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,673,438千円(前年同期比8.3%増加)となりました。当第3四半期累計期間は国内市場において検体検査装置関連の売上が好調に推移致しました。また、当第3四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は前年同期比0.4ポイント低下し10.7%となりました。

利益面に関しては、採血管準備装置及び検体検査装置の原価が低減したことにより売上総利益は2,947,031千円(前年同期比8.7%増加)、販売費及び一般管理費は1,655,649千円(前年同期比4.8%増加)となり、営業利益は1,291,382千円(前年同期比14.2%増加)、経常利益は1,292,879千円(前年同期比13.5%増加)、四半期純利益は821,983千円(前年同期比20.5%増加)となりました。

## &lt;品目別の販売状況&gt;

## ・採血管準備装置

当第3四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は2,384,402千円(前年同期比12.0%増加)となりました。

当第3四半期累計期間は国内市場で、平成23年9月から販売開始した採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心に販売が堅調に推移し、同市場における売上高は2,018,853千円(前年同期比12.2%増加)となりました。

海外市場においては、円高等の影響を受け、売上高は365,548千円(前年同期比11.0%増加)となりました。

## ・検体検査装置

当第3四半期累計期間における検体検査装置の売上高は470,106千円(前年同期比12.6%増加)となりました。

国内市場の売上高は408,934千円(前年同期比24.8%増加)となりました。これは電解質分析装置関連の売上があったこと等によります。

海外市場においては、売上高は61,171千円(前年同期比32.0%減少)となりました。

## ・消耗品等

当第3四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,676,073千円(前年同期比4.8%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計販売台数の増加に伴い2,498,504千円(前年同期比4.5%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、装置の累計販売台数の増加に伴い177,569千円(前年同期比9.8%増加)となりました。

## ・その他

当第3四半期累計期間において、その他の売上高は142,855千円(前年同期比2.9%増加)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は10,554,373千円となり、前事業年度末比673,478千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだこと等により現金及び預金が201,058千円増加、売上債権が487,686千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債の残高は1,758,635千円となり、前事業年度末比1,238,502千円減少しました。これは主に、平成24年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が834,418千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が369,659千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は8,795,738千円となり、前事業年度末比565,023千円増加しました。これは配当金の支払が256,960千円、四半期純利益が821,983千円であったことによるものであります。なお、自己資本比率は83.3%となり、前事業年度末比10.0ポイント上昇しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付の平成24年3月期決算短信で発表した平成25年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,662,957	4,864,015
受取手形	834,092	881,653
売掛金	<u>2,150,001</u>	<u>1,614,754</u>
商品及び製品	<u>1,797,618</u>	<u>1,364,266</u>
仕掛品	65,339	<u>108,169</u>
原材料及び貯蔵品	68,357	94,425
前払費用	7,001	11,488
繰延税金資産	<u>84,301</u>	<u>28,526</u>
その他	1,464	<u>10,405</u>
貸倒引当金	<u>△7,621</u>	<u>△4,344</u>
流動資産合計	<u>9,663,513</u>	<u>8,973,361</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	895,837
減価償却累計額	<u>△384,372</u>	<u>△406,420</u>
建物(純額)	<u>468,038</u>	<u>489,417</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,898</u>	<u>△3,011</u>
構築物(純額)	<u>1,179</u>	<u>1,065</u>
機械及び装置	—	8,500
減価償却累計額	—	<u>△810</u>
機械及び装置(純額)	—	<u>7,689</u>
工具、器具及び備品	55,489	89,146
減価償却累計額	<u>△46,067</u>	<u>△51,677</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>9,421</u>	<u>37,468</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,265,966</u>	<u>1,322,968</u>
無形固定資産		
特許権	3,375	2,867
商標権	1,266	1,116
ソフトウェア	705	165
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>6,524</u>	<u>5,326</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	—
繰延税金資産	<u>129,625</u>	<u>120,400</u>
保険積立金	106,328	85,224
差入保証金	30,877	39,581
貸倒引当金	<u>△20,649</u>	<u>—</u>
投資その他の資産合計	<u>291,847</u>	<u>252,716</u>
固定資産合計	<u>1,564,338</u>	<u>1,581,011</u>
資産合計	<u>11,227,852</u>	<u>10,554,373</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,621,256	786,837
短期借入金	100,000	—
未払金	120,172	180,646
未払法人税等	532,326	162,666
未払消費税等	39,954	40,698
未払費用	49,512	56,257
前受金	11,970	102,805
預り金	7,596	19,440
賞与引当金	103,000	45,900
役員賞与引当金	24,000	24,000
その他	36,417	1,524
流動負債合計	2,646,205	1,420,777
固定負債		
役員退職慰労引当金	209,505	220,005
製品保証引当金	132,353	108,712
受入保証金	9,072	9,139
固定負債合計	350,932	337,857
負債合計	2,997,137	1,758,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	6,192,988	6,758,012
株主資本合計	8,230,714	8,795,738
純資産合計	8,230,714	8,795,738
負債純資産合計	11,227,852	10,554,373



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	5,238,095	5,673,438
売上原価	2,527,411	2,726,406
売上総利益	2,710,684	2,947,031
販売費及び一般管理費	1,579,696	1,655,649
営業利益	1,130,987	1,291,382
営業外収益		
受取利息	1,133	770
保険解約返戻金	—	367
その他	8,252	696
営業外収益合計	9,385	1,833
営業外費用		
支払利息	1,166	336
営業外費用合計	1,166	336
経常利益	1,139,205	1,292,879
税引前四半期純利益	1,139,205	1,292,879
法人税、住民税及び事業税	390,730	405,895
法人税等調整額	66,071	64,999
法人税等合計	456,801	470,895
四半期純利益	682,403	821,983

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成しておりません。

(訂正前)



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テクノメディカ  
コード番号 6678 URL <http://www.TechnoMedica.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 實吉 繁幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 村元 和夫 TEL 045-948-1961  
四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,385	6.5	1,103	7.3	1,105	7.3	715	15.9
24年3月期第3四半期	5,059	8.7	1,028	52.5	1,030	52.2	616	42.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24,493.73	—
24年3月期第3四半期	21,124.50	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,074	9,529	86.1
24年3月期	12,004	9,071	75.6

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,529百万円 24年3月期 9,075百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	8,800.00	8,800.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期（予想）				7,600.00	7,600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	25.3	2,000	9.4	2,000	9.2	1,200	11.7	41,095.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	29,200株	24年3月期	29,200株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	－株	24年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	29,200株	24年3月期3Q	29,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、震災の復興需要が下支えするなかで緩やかな回復基調にあったものの、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性は依然として高く、力強さに欠ける状況が続いております。

国内医療業界においては、医療費・社会保障費の自然増加が毎年1兆円を超える規模で進む中、政府の医療費増加抑制政策が続いております。これに対し医療機関は様々な取り組みで経営の効率化を進めており、医療現場の効率化につながる機器の導入は今後も継続するものと思われま。

このような経営環境の中で、当社では検体検査装置やヘルスケア部門において新製品開発を進めるとともに、平成23年9月に販売開始した新型採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心とした販売活動を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,385,747千円(前年同期比6.5%増加)となりました。当第3四半期累計期間は国内市場において検体検査装置関連の売上が好調に推移致しました。一方、海外市場では、円高等の影響から採血管準備装置および検体検査装置の販売が低調に推移致しました。また、当第3四半期累計期間の総売上高に対する海外売上高の占める割合は前年同期比3.8ポイント低下し8.0%となりました。

利益面に関しては、採血管準備装置及び検体検査装置の原価が低減したことにより売上総利益は2,811,487千円(前年同期比7.7%増加)、販売費及び一般管理費は1,707,493千円(前年同期比7.9%増加)となり、営業利益は1,103,993千円(前年同期比7.3%増加)、経常利益は1,105,491千円(前年同期比7.3%増加)、四半期純利益は715,216千円(前年同期比15.9%増加)となりました。

#### <品目別の販売状況>

##### ・採血管準備装置

当第3四半期累計期間における採血管準備装置の売上高は2,024,411千円(前年同期比1.9%増加)となりました。

当第3四半期累計期間は国内市場で、平成23年9月から販売開始した採血管準備装置BC・ROBO-8000RFIDを中心に販売が堅調に推移し、同市場における売上高は1,834,375千円(前年同期比11.8%増加)となりました。

海外市場においては、円高等の影響を受け、売上高は190,035千円(前年同期比45.0%減少)となりました。

##### ・検体検査装置

当第3四半期累計期間における検体検査装置の売上高は546,106千円(前年同期比30.8%増加)となりました。

国内市場の売上高は484,934千円(前年同期比48.0%増加)となりました。これは電解質分析装置関連の売上があったこと等によります。

海外市場においては、円高等の影響を受け、売上高は61,171千円(前年同期比32.0%減少)となりました。

##### ・消耗品等

当第3四半期累計期間における消耗品等の売上高は2,676,073千円(前年同期比4.8%増加)となりました。

国内市場における消耗品等の売上高は、装置販売が順調に拡大したことおよび装置の累計販売台数の増加に伴い2,498,504千円(前年同期比4.5%増加)となりました。

海外市場における消耗品等の売上高は、装置の累計販売台数の増加に伴い177,569千円(前年同期比9.8%増加)となりました。

##### ・その他

当第3四半期累計期間において、その他の売上高は139,155千円(前年同期比37.2%増加)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は11,074,229千円となり、前事業年度末比930,349千円減少しました。これは主に、売掛金の回収が順調に進んだこと等により現金及び預金が201,058千円増加、売上債権が940,995千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の負債の残高は1,544,479千円となり、前事業年度末比1,388,606千円減少しました。これは主に、平成24年3月期第4四半期において販売をおこなった製品仕入に係る支払が滞りなく進んだことにより仕入債務が845,684千円減少、法人税等の納付により未払法人税等が441,839千円減少したことによるものであります。

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は9,529,750千円となり、前事業年度末比458,256千円増加しました。これは配当金の支払が256,960千円、当期純利益が715,216千円であったことによるものであります。なお、自己

資本比率は86.1%となり、前事業年度末比10.5ポイント上昇しました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付の平成24年3月期決算短信で発表した平成25年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,662,957	4,864,015
受取手形	834,092	881,653
売掛金	<u>3,392,312</u>	<u>2,403,756</u>
商品及び製品	<u>1,326,196</u>	<u>1,111,654</u>
仕掛品	65,339	<u>107,171</u>
原材料及び貯蔵品	68,357	94,425
前払費用	7,001	11,488
繰延税金資産	<u>94,788</u>	<u>47,477</u>
その他	1,464	<u>818</u>
貸倒引当金	<u>△36,620</u>	<u>△53,572</u>
流動資産合計	<u>10,415,890</u>	<u>9,468,889</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物	852,411	895,837
減価償却累計額	<u>△384,372</u>	<u>△406,420</u>
建物(純額)	<u>468,038</u>	<u>489,417</u>
構築物	4,077	4,077
減価償却累計額	<u>△2,898</u>	<u>△3,011</u>
構築物(純額)	<u>1,179</u>	<u>1,065</u>
機械及び装置	—	8,500
減価償却累計額	—	<u>△810</u>
機械及び装置(純額)	—	<u>7,689</u>
工具、器具及び備品	55,489	89,146
減価償却累計額	<u>△46,067</u>	<u>△51,677</u>
工具、器具及び備品(純額)	<u>9,421</u>	<u>37,468</u>
土地	787,326	787,326
有形固定資産合計	<u>1,265,966</u>	<u>1,322,968</u>
無形固定資産		
特許権	3,375	2,867
商標権	1,266	1,116
ソフトウェア	705	165
電話加入権	1,177	1,177
無形固定資産合計	<u>6,524</u>	<u>5,326</u>
投資その他の資産		
出資金	7,510	7,510
破産更生債権等	38,155	—
繰延税金資産	<u>153,976</u>	<u>144,728</u>
保険積立金	106,328	85,224
差入保証金	30,877	39,581
長期未収入金	<u>68,400</u>	<u>68,400</u>
貸倒引当金	<u>△89,049</u>	<u>△68,400</u>
投資その他の資産合計	<u>316,197</u>	<u>277,045</u>
固定資産合計	<u>1,588,688</u>	<u>1,605,340</u>
資産合計	<u>12,004,579</u>	<u>11,074,229</u>



(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,603,824	758,140
短期借入金	100,000	—
未払金	120,172	180,646
未払法人税等	532,326	90,486
未払消費税等	39,954	30,225
未払費用	49,512	56,257
預り金	7,596	19,440
賞与引当金	103,000	45,900
役員賞与引当金	24,000	24,000
その他	1,767	1,524
流動負債合計	<u>2,582,153</u>	<u>1,206,621</u>
固定負債		
役員退職慰労引当金	209,505	220,005
製品保証引当金	132,353	108,712
受入保証金	9,072	9,139
固定負債合計	<u>350,932</u>	<u>337,857</u>
負債合計	<u>2,933,085</u>	<u>1,544,479</u>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,069,800	1,069,800
資本剰余金	967,926	967,926
利益剰余金	7,033,767	7,492,024
株主資本合計	<u>9,071,493</u>	<u>9,529,750</u>
純資産合計	<u>9,071,493</u>	<u>9,529,750</u>
負債純資産合計	<u>12,004,579</u>	<u>11,074,229</u>

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	5,059,255	5,385,747
売上原価	2,448,567	2,574,260
売上総利益	2,610,688	2,811,487
販売費及び一般管理費	1,581,784	1,707,493
営業利益	1,028,904	1,103,993
営業外収益		
受取利息	1,133	770
保険解約返戻金	—	367
その他	1,788	696
営業外収益合計	2,921	1,833
営業外費用		
支払利息	1,166	336
営業外費用合計	1,166	336
経常利益	1,030,659	1,105,491
税引前四半期純利益	1,030,659	1,105,491
法人税、住民税及び事業税	343,554	333,715
法人税等調整額	70,269	56,558
法人税等合計	413,823	390,274
四半期純利益	616,835	715,216

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、医療機器、及びこれら装置で使用する消耗品の製造販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報は作成していません。